

## ろくべのイチイ

庄川から少し離れた高台にあるろくべの家の敷地内には、高さ 12 メートルのイチイ (*Taxus cuspidata*) の木がある。この木は、約 200 年前に平瀬集落の旧家の庭に植えられたものと考えられており、有史以前から人が住んでいたとされる平瀬集落の原型となっている。現在、平瀬集落は川沿いに広がっているが、20 世紀初頭に鉱山や水力発電所が建設されてから急速に拡大した。

イチイは比較的よく白川の古い庭に見られる木である。成長は非常に遅いが、木は比較的柔らかく彫刻しやすいので、現在の岐阜県の地域では伝統的に装飾用木彫の材料として使われてきた。